

料金後納

ゆうメール

一幸建設は昭和53年の設立以来、三河エリアで地元密着での建築と不動産に携わる会社です。本来ならば直接ご挨拶申し上げるべきところ不躰ではございますが、私どもの会社を知っていただきたいとの思いから、一度でも名刺交換などご縁を賜りました方に、ニュースレターを送付しております。仕事でかわった皆様にお力添えいただきながら、社員の幸せと日々の成長を糧に、地域の皆様に必要なとされる地元でのお役立ち企業を目指しております。

東三河での建築と不動産に関することでしたら、小さなことでもお気軽にご相談ください。  
代表取締役 山本敬輔 営業スタッフ一同

## 『共に学ぶ』2021年度インターンシップ

毎年夏休みの時期に、地元工科高校の生徒や、中小企業家同友会を通じて県内の専門学校・大学生の職場体験を受入れています。このインターンシップは、学生に我々の仕事についての理解を深めてもらうだけでなく、経営幹部はもちろん社員も出来る限り参画し、学生と一緒に職業観や働く事について考える『共に学ぶ』ことを目標にして行っています。しかし、残念ながら今回2週間を予定していた大学生のカリキュラムの4日目で緊急事態宣言が発令されてしまい、感染防止と安全を第一に考えて急遽スケジュールを変更しました。残りの期間は対面を取りやめ、可能な限りオンライン対応としました。現場実地研修や図面作成実習など、対面でなければやりづらいものばかりですので、中止という選択肢もありましたが、業務も多忙な中、試行錯誤しながら最後まで行ってくれた社員には、頭の下がる思いでした。

社員が即中止という選択をせず、前向きに取り組んでくれた理由として、学生のひとは名古屋から毎朝始発で通っており、せっかく「学びたい」という強い思いをもって申し込んでくれた学生に応える気持ちと、自分達の仕事に対する職業観を学生に伝えることへの意義や楽しさを感じてくれているのではないかと考えています。これからも弊社で仕事をしてきている社員と一緒に、多くの学生に地域の生活インフラを担う建設業の仕事のやりがいや楽しさを伝えていければと思います。



オンライン研修風景

## 有限会社府中屋様 新社屋竣工式（8月30日）

この度、計画から2年に及ぶ府中屋様新社屋プロジェクトが無事完成いたしました。本来であれば従業員の皆様、多くの関係者が列席し、落成式・竣工披露が執り行われる予定でしたが、緊急事態宣言の発令により、感染防止の観点から、最小限の関係者のみで式典が執り行われました。コロナ蔓延という逆境にブレることなく、自社の思い描く経営ビジョンの実現に向け、新社屋プロジェクトを成し遂げられた府中屋様に感銘いたします。社長様の思いが詰まったこの新社屋で働く事の出来る従業員の皆様も本当に幸せだなと感じます。ZEBリーディングオーナー・グレートカンパニーとして、社員の皆様と共に、更なるご繁栄をご祈念申し上げます。



地元密着東三河での不動産と建築のことなら小さなことでもお気軽にご相談下さい！

※ニュースレターをご不要な場合はお手数ですが 0532-46-9336 まで

## 増築工事の計画②

戸建住宅の増築工事が完成しました。母屋を新築する時から計

画し、13年越しの着工となった邸宅です。予定通り母屋の廊下部分と結合しました。

住宅設備は最新のものを導入しながら、母屋と雰囲気を合わせた邸宅になりました。

ご主人様の「遊び心も必要だ」という考えから、キッチンには折り下げ天井にし、寝室から続くウッドデッキ横には目隠しを兼ねた縦格子を設置。また、母屋と同じように縦長のスリット窓を設置したり、屋根の形状を合わせたり。こだわりがお部屋の各所にちりばめられています。リビングに貼ったヒノキの羽目板からは、まるで森林浴をしているかのようないい香りがします。当初はトイレも設置する予定でしたが、母屋のトイレが近くにありそちらを使用するというので、そのスペースを外部収納にしました。お庭の手入れに使う器具や自転車をしまっておくそうです。



完成した増築部分へお引越しを済ませ、息子さんご家族の母屋への入居ももう間もなく。我が家での新しい生活が始まります。今回の工事はこれで完了ですが、これから長く住み続けるためにもお手入れが必要になってきます。お客様のご要望をなるべくかなえられるようにお手伝いを続けていきたいと思っています。

営業・設計 山崎

## コロナ禍から思うこと

新型コロナウイルスが発生してからしばらく経ちますが、収束

がなかなか見えてきません。たくさんの業種の方にも売上が落ちたり、営業が出来なかったりと厳しい状況が続いているかと思っています。飲食店の方とも話をする機会があるのですが、「去年の忘年会は我慢でしたが今年こそは」と年頭に話をした覚えがあります。今年の忘年会シーズンもあっという間に近づいてきていますが、コロナ以前のようになるかまだわからない状況です。

私自身、豊橋商工会議所青年部に所属しているのですが、イベントの一つである炎の祭典が愛知県の緊急事態宣言に伴い中止となってしまいました。たくさんの方々と関わり、打ち合わせをして作ってきたのですが、実際に開催することはできなく残念に思います。

収束が見えない状況や各イベントの中止を見てきて、今まで当たり前だったやり方ではなく、工夫して新しく変えていくことも必要だと思いました。どれだけ対策をとってもなかなか完璧に防ぐということとはできないかもしれませんが、今が変わるチャンスだと捉え、変化への対応を柔軟に考えることも必要だと思っています。自分の仕事のやり方一つとっても、数年前は全くできないと思っていたリモートでの打ち合わせもここ最近では普通に活用するようになりました。

元に戻るのではなく、一歩進むということを選んで仕事も効率を上げていければと思います。



建築不動産営業 筒井